

第268回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成22年5月24日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
井伊 基之	委員	三島 勇	委員
碓井 真史	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	前川 磐
常務取締役（放送統括）	奥野 富士郎
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	駒形 正明
報道制作局長	竹石 尚史
報道制作局次長 兼 報道制作部長	稲田 裕之
編成部長	中川 保彦
合評番組プロデューサー	小木 裕介

事務局 海津 智洋 紫竹 聡子 水野 明子

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「**僕らの学校に校歌が出来た～良寛さまの教えが生きて  
いる学び舎～**」

〔放送 : 10年5月8日(土) 10:30～11:00〕

(説明 : 番組プロデューサー 小木 裕介)

### 2) 会社報告

① 3月の視聴者の意見。 (報告 : 視聴者相談室長 海津 智洋)

② 講じた措置、公表など定例の報告等。 (報告 : 事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要 (委員の意見)

会社側から、この番組は小さな話題を取り上げたものでローカル放送ならではの取組みであること、長岡市の提供番組であるものの市の方からの細かい要望等もなく制作が進んだこと、更なる取材と制作内容の広がりについての可能性と反省を残している点などを報告した。

●良寛の里・和島を題材にした市の教育政策をアピールするために企画したよくできた広報番組で、きちんと知りたいことはわかる丁寧なづくりの番組だと思った。

●小学校の校歌をプロの作曲家に依頼して、それを学校に納品するまでのプロセスを番組にするというのは、今まであまり見かけたことの無いユニークな切り口の番組だと思った。

●作詞宇崎、作曲阿木という全国区のふたりで懐かしく、どんな校歌になるだろうと期待して見た。また、宇崎・阿木コンビが良寛さまをテーマにして、和島の歴史的地域特性を校歌にどういうふうに織込むのか、発表会で校歌が披露されるまでワクワクして見ていた。

●木造平屋建ての新しい校舎と新しい校歌の二つがともに印象に残った。こういう環境で学んでゆく子供はどういうふうに育っていくのかなと思った。

●校歌は「優しく強くて澄んだ心」良寛さまの教えが内容で、これがポップ的な音楽にのって流れ、校歌も変わったと新鮮に感じた。

●二つの学校が無くなって一つの学校になるわけで、それぞれの学校が無くなる時に色々なイベントがあったと思うし、その辺を盛り込んでくれると新しい学校の誕生により思いが入るのかなと思った。

●宇崎・阿木夫妻が校歌を作っていく過程がよくわかって、夫婦が校歌にかける思いもよくわかり、丁寧な番組作りになっていた。

●校歌は子供たちのものなので、子供から見た校歌、子供と校歌とのかかわり、練習風景、歌の印象の受けとめ方、などをより沢山盛り込んだら更に子供たちの校歌に込める気持ちが伝わってきたかなと思った。

●阿木さんと良寛さまの「ご縁」、つながりの所をもうちょっと丁寧に教えてもらえるとよかった。例えば、コーラスグループ「ひふみレインボー」で合唱をしている縁で自然に作曲に協力することになったと理解できたし、グループ名のもとになった

「ひふみの手毬唄」がどんな唄か読んでもらえたりするとともに理解が深まったと思った。

●子供の笑顔と校歌を歌うときに子供たちが体を動かしながら歌っているのを見て、時代が変わったと感じた。

●かなり歌い辛い違和感のあるメロディーと感じた。いわゆる校歌のイメージと違うかなと感じた。

●阿木さんが子供たちのいろんな要望をどうやって工夫して歌に入れていったのか、その辺を子供たちに先生方が伝えながら歌の練習をしていくところなどをもっと取材できるとよかった。

●「僕らの学校に校歌が出来た」というテーマはとても魅力的だが、あまりにも予定調和的で、良い所ばかり出てくる感じで違和感を持った。100年の歴史がある学校が無くなることや、二つの地域が一つになっていくことに色んな思いがあったはずで、悩んだり問題が起きたりして「もっといろいろありました」というのをやってくれた方が見ている方として自然に感じたのではないかと思った。

●6年前に市町村合併があって、従来の市町村の計画事業がそのまま5年間合併後も保証されるということで、この学校の建設が受け継がれている。新しい校舎は県産材を使っていて、校舎の建設は和島の地域の人達で決めていた。

●校長や先生方がほとんど登場してこない印象だった。良寛をどう子供たちに伝えていくか教育的な面がもう少し出ても良かったのではないかと思った。

●歌がハイカラなので教職員が子供や地域の大人たちに教えるのに苦労があったと思う。

●地域の人達と一緒に歌うという点も良く考えたと感心した。

## 6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

4月……194件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成22年4月26日)から昨日(平成22年5月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第267回審議会では『夕方ワイドニュースコーナー 県内初 裁判員裁判』を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第267回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載しました。

## 9 参考事項(委員への配布資料)

- ・4月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・4月の単発番組制作一覧
- ・民間放送新聞(4/23, 5/13号)

以上